大和郡山市議会だより　令和８年　第３回　定例会

市議会の第3回定例会が、8月31日(月)～9月16日(水)に開かれました。　　問合せ＝議会事務局(内線774)

議決結果について

	件　　名	議決結果
同意案	**同意案第10号　固定資産評価審査委員会委員の選任について** 小野 修一 氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することについて、議会の同意を得ます。	**同意** (賛成全員)
同意案	**同意案第11号　人権擁護委員の推薦について** 磯部 信孝 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	**同意** (賛成全員)
同意案	**同意案第12号　人権擁護委員の推薦について** 市村 公一 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	**同意** (賛成全員)
同意案	**同意案第13号　人権擁護委員の推薦について** 福井 貴世 氏を人権擁護委員に推薦することについて、議会の同意を得ます。	**同意** (賛成全員)
議案	**議案第36号　大和郡山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について** 小規模保育事業として「満３歳以上限定小規模保育事業」を規定し、保育所での保育士の数の算定に当たり、理学療法士等も一人に限り保育士とみなすことを可能とするほか、３歳児に対する保育士等の配置基準の緩和に関する経過措置の終期を定めるため、所要の改正を行います。	**原案可決** (賛成多数) ※賛否は別表
議案	**議案第37号　大和郡山市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について** 地方自治法施行規則の一部改正に伴い、引用条文の整理を行うため、所要の改正を行います。	**原案可決** (賛成全員)
議案	**議案第38号　大和郡山市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について** 社会保険診療報酬支払基金法の一部改正に伴い、審査支払機関である「社会保険診療報酬支払基金」の名称が変更されたため、所要の改正を行います。	**原案可決** (賛成全員)
議案	**議案第39号　市道路線の認定について** 都市計画法により帰属した道路５路線を市道認定します。	**可決** (賛成全員)
議案	**議案第40号　大和郡山市立図書館資料ＩＣタグ関連機器購入契約について** 図書館にＩＣタグ関連機器を配置するため、トーテックアメニティ株式会社大阪事業所 所長 西戸 勇美と、契約金額3,７９５万円で購入契約を締結します。	**可決** (賛成全員)
議案	**議案第41号　令和８年度大和郡山市一般会計補正予算（第２号）について** ・補正額　9,191万5,000円の増額　　・歳入歳出総額　394億661万5,000円 ・主な補正内容：市税修正申告等に伴う還付金、高齢者グループホーム等施設整備補助金、対象の省エネ家電への買い換えに対する補助金、本年６月の台風７号による豪雨被害を受けた農地等の復旧に要する経費など	**原案可決** (賛成全員)
議案	**議案第42号　令和８年度大和郡山市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）について** ・補正額　7,123万8,000円の増額　　・歳入歳出総額　110億633万7,000円 ・主な補正内容：国及び県負担金等の精算の結果、超過交付が発生したことによる償還金に要する経費	**原案可決** (賛成全員)
議認	**議認第１号　令和７年度大和郡山市一般会計歳入歳出決算について** 歳入総額　388億8,546万円　　歳出総額　379億5,739万4,000円 実質収支額　7億4,797万5,000円	**認定** (賛成多数) ※賛否は別表

	件名	議決結果
議認	**議認第2号　令和7年度大和郡山市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について** 歳入総額　86億6,901万6,000円　歳出総額　84億9,870万8,000円 実質収支額　1億7,030万8,000円	**認定** （賛成多数） ※賛否は別表
	議認第3号　令和7年度大和郡山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額　19億6,880万円　歳出総額　19億6,452万1,000円 実質収支額　427万9,000円	**認定** （賛成全員）
	議認第4号　令和7年度大和郡山市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額　102億1,681万5,000円　歳出総額　102億1,507万1,000円 実質収支額　174万4,000円	**認定** （賛成全員）
	議認第5号　令和7年度大和郡山市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額　2,552万4,000円　歳出総額　2,098万1,000円 実質収支額　454万3,000円	**認定** （賛成全員）
	議認第6号　令和7年度大和郡山市公園墓地事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額　4,542万8,000円　歳出総額　978万9,000円 実質収支額　3,563万9,000円	**認定** （賛成全員）
	議認第7号　令和7年度大和郡山市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算について 歳入総額　6億3,318万3,000円　歳出総額　6億3,318万3,000円 実質収支額　0円	**認定** （賛成全員）
	議認第8号　令和7年度大和郡山市下水道事業会計決算について 収益決算額（税抜）25億4,104万9,000円　費用決算額（税抜）22億2,506万4,000円 収入決算額（税込）13億4,081万7,000円　支出決算額（税込）22億7,864万6,000円	**認定** （賛成全員）
意見書案	**意見書案第９号　働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とＩＬＯ三者構成原則の堅持を求める意見書について**	**原案可決** （賛成多数） ※賛否は別表
	意見書案第10号　「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化および防災体制の抜本的強化を求める意見書について	**原案可決** （賛成全員）
	意見書案第11号　化学物質過敏症に関する対策強化を求める意見書について	**原案可決** （賛成全員）
	意見書案第12号　衆議院議員の比例定数削減に関する意見書について	**否決** （賛成少数） ※賛否は別表
	意見書案第13号　奨学金の金利上昇に対する負担軽減と給付型奨学金の拡充を求める意見書について	**原案可決** （賛成全員）

※請願書（陳情書、要望書）の提出について：請願書等はいつでも受付をしていますが、審査の都合上、できるだけ定例会開会前の議会運営委員会が開かれるまでに提出してください。なお次の定例会は、12月上旬の予定です。詳しくは、議会事務局（内線774）までお問い合わせください。

令和８年
第３回　市議会定例会の結果

賛否が分かれた議案

	東川勇夫	福田浩実	村田俊太郎	北野伊津子	上田健二	金銅成悟	中村尊裕	河田和美	堀川力	乾充徳	徳野衆	丸谷利一	下地敦志	遊田直秋	西村千鶴子	林浩史	鈴木健嗣	冨野孝之	吉川幸喜	西川貴雄
議案第３６号	議長	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議認第１号		○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議認第２号		○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第９号		○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×
意見書案第12号		○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×

賛成・・・○　　反対・・・×

※議長は採決に加わりません。

市議会からのお知らせ

大和郡山市議会議員は政務活動費を受け取っていません

平成 13 年に制度化され、議員が受け取ることのできる政務調査費（現在は政務活動費）ですが、市の財政状況等を鑑み、大和郡山市議会議員は、当初から受け取っていません。



１日目

※携帯電話回線で視聴する場合は、データ通信量の上限にご注意ください。
※携帯電話回線の契約内容によっては、通信料の支払いが必要となる場合があります。

１ 日 目

「選ばれる大和郡山市」への転換について　　中村　尊裕 議員

問　企業、若者、子育て世代、障害のある子どもとその家族から「大和郡山市を選んで良かった」と思われるまちを実現するため、残りの任期において「これだけは自らの責任で変える」と市民に約束できる政策は何か。

答　元気スマート城下町の実現のため、リメイク大和郡山を引き続き基本理念とし、諸課題に正面から向き合っていくとともに、近鉄郡山駅前再整備、リノベーションまちづくり等のハード面と、市民がこのまちに夢と誇りと自信を持つことができるソフト面の取り組みの両面から、３０年未来を見据えたＮＥＸＴ大和郡山の土台作りに取り組みます。アフター大河に臨み、皆様からのご提言もいただきながら、努力を積み重ねていくことをお約束します。

酷暑について　　冨野　孝之 議員

問　最高気温が上昇し、今年の猛暑日が３３日間を数えたが、市民や保育園・認定こども園、小・中学校における猛暑に対する今後の取り組みは？４０℃超の酷暑日到来に備えた耐酷暑改革推進を求める。

答　民間施設のクーリングシェルターの募集を継続すると共に、市民に対して多様な媒体を活用し周知啓発に努めてまいります。保育園・認定こども園については、室内での遊び方を工夫すると共に、体を動かす遊びができるような室内ホールの遊具の充実も検討する必要があると考えています。令和９年度、中学校では、体育館の断熱性や遮熱性等の向上に資する工事を実施し、小学校では、体育館空調設備の設計業務に着手したいと考えています。

高さ規制の緩和について
下地　敦志 議員

問 三菱ＵＦＪ銀行跡地にマンション建設が予定されている件について、第 81 回大和郡山市都市計画審議会で「景観上支障がない」と判断した根拠は。また、今後も高さ規制の緩和は柔軟に行うのか。

答 県の「まほろば眺望スポット百選」に選定されている郡山城跡からの景観を検討し、若草山方面および城下町の寺社への眺望を阻害しないため、景観上支障がないと判断し、都市計画審議会でご審議いただき、決定されたものです。今後も案件ごとに景観への影響を慎重に検討し、都市計画審議会へ諮問した上で対応してまいります。

他の質問項目：広域行政の推進について
自治会と行政の関係について

外出支援策について
丸谷　利一 議員

問 高齢者に対する介護予防の観点と福祉施策としての外出支援策の進捗状況は。また、デマンドタクシーの現状等は。今後の高齢者の外出支援策について市としての考えは？

答 地域で支え合う協働事業として高齢者移動支援事業を矢田地区と筒井地区で実施し、昭和地区と片桐地区での開始を予定しています。また、交通空白地の移動手段確保のため、令和８年４月から市内２地区でデマンドタクシーの本格運行を開始しています。高齢者の買物・通院等の日常生活の移動支援や移動手段の確保は重要な課題であり、両事業を通じて、地域で暮らし続ける環境づくりを進めていきます。

クビアカツヤカミキリ対策について
北野伊津子 議員

問 ①特定外来生物のクビアカツヤカミキリの被害が広がっている。市内の被害状況と対策は？
②市全体で取組みが必要と考えるが、市民への周知方法は?

答 ①本市では、令和２年に初めての被害を確認し、その後しばらくは被害を確認しておりませんでしたが、令和５年以降、再び被害を確認し、いまや市内全域に被害が及んでいます。被害樹木のすべてに対策を行うのは困難ですが、まずは郡山城跡周辺において、国交付金を活用し、薬剤を用いた消毒や幼虫の駆除などを行っています。
②市民の皆様が成虫を発見されたときは、捕殺など駆除をお願いしており、市ホームページでも周知していきます。

他の質問項目：子どもの医療費助成について

リノベーションまちづくりの取組みについて
鈴木　健嗣 議員

問 近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりにおいて、駅移設や駅前広場整備などのハード事業とともに取組んでいる「城下町エリアでのリノベーションまちづくり事業」について、その現状と今後の展開をお答えください。

答 令和２年のリノベーションスクール開催から、城下町エリアで事業を志す創業希望者の発掘と育成に努め、大和郡山まちづくり株式会社の運営を支援してきました。これまでに宿泊施設を含む７件のリノベーションが実現し、今後の「まちづくりファンド」を活用した新たな計画にも、地域の声を大切にしながら継続して支援していきます。また、商業中心の展開に加え、地場産業支援につながる新たな「まちづくり戦略」の策定にも取り組みます。

実効性のある災害対策について
河田　和美 議員

問 ①大規模災害時、全国から応援職員が来ても受け入れ体制が整っていなければ、すぐに被災者支援につなげる事が出来ない。応援職員の受付や配置等、具体化した「受援計画」を早期に策定するべきでは？②災害用トイレは「使える」で完結せず、使用済み便袋の保管・回収・処理まで定めておく必要があると思うが、市の対応は？

答 ①県の「地震被害想定」がまとまり次第、実務担当課と協議の場を設け、国の手引きを参考に実効性のある受援計画策定に向け、具体的な検討を開始します。②使用済み便袋の保管場所や具体的な廃棄方法は十分に定まっていませんが、早急に関係部署と連携し、適切な保管・廃棄方法についてマニュアルの充実を図ってまいります。

蟹川の治水対策について
林　浩史 議員

問 全国各地で予想外の豪雨が頻発する中、蟹川の河川氾濫と排水路の溢水による浸水被害に対し、流域治水対策に取り組む必要があると考えます。蟹川整備の今後の見通しについて、具体的な見解をお聞かせください。

答 気候変動による水害の激甚化に対応するため、蟹川流域での治水対策に取組んで参ります。今年度は測量業務を実施中で、来年度は対策検討業務、令和１０年度以降には国や県の補助金等を活用し、基本設計、地質調査、用地整理、詳細設計を行い、調整池の設置や部分的な河道整備を目指します。これらの事業を実施することで、５年確率の雨水流量を安全に流下させ、１０年確率の雨水流量での外水氾濫を解消できる見込みです。

令和８年
第３回　市議会定例会の結果

障害施策について

上田　健二 議員

問　①内閣府が不当な差別的取扱いや合理的配慮の提供についての相談「つなぐ窓口」を実施しているが本市はどうか。②ＩＣＴ化や駅の無人化で障害者が不便を強いられています。視覚障害者はタッチパネルが使えない、車いすの身体障害者は無人レジに手が届かない、聴覚障害者は券売機でインターホンが使えない、などの声に対応すべきだがどうか。

答　①「つなぐ窓口」を通じての相談事案は今のところありません。②令和６年４月より障害者への合理的配慮が義務づけられており、障害福祉課が相談窓口となります。

介護保険について

徳野　衆 議員

問　①市内事業所調査の内容で離職者数、介護職員の充足率、更に介護報酬加算の条件であるケアプラン連携システムの利用率は？②介護報酬加算の条件の壁は高く全国の訪問系事業所の加算率は３割のみ。年々倒産廃業が増える対策には、条件なく報酬増額すべきだが市内事業所の経営状況と、市として報酬加算について問う。

答　①事業所回答では、離職者合計は２４５名、介護職員の充足状況は「やや（大幅）不足」が約７０％、ケアプラン連携システムの利用状況は「未利用」が５１％でした。②経営状況を「(やや）厳しい」と回答した事業所は７７％でした。報酬加算は国に委ね、市は経営困難の主要因が人材関連であるため、人材確保施策に取組みます。



QR コードから、議会インターネット中継をご覧いただけます。

２日目

※携帯電話回線で視聴する場合は、データ通信量の上限にご注意ください。
※携帯電話回線の契約内容によっては、通信料の支払いが必要となる場合があります。

２日目

学童保育について

堀川　力 議員

問　利用児童が増える中、子ども達の安全を確保することが大切です。その上で、支援員や保護者の方にとって負担の少ない持続可能な運営体制が必要です。安全性の確保と今後の学童保育の運営方針についてのお考えは？

答　定員の基準を超えている学童保育所もあり、余裕教室の活用や閉園後の幼稚園の活用など安全性を第一に考え、スペースの確保に努めます。支援員の処遇や利用に関する公平性を担保するため、サポートセンターが運営する学童保育所は統一した方法で運営する方針を決定し、令和９年４月より段階的に移行する予定です。また、安定した運営を図るため、一般社団法人化を検討しています。

他の質問項目：災害発生時の対応について

①学校における働き方改革について
②健康管理について　福田　浩実 議員

問　①教員の負担軽減の為、テストの自動採点システムを導入する考えは？②「すこやかポイント事業」と「健康アプリ・ケンコム事業」の主だったそれぞれの特徴は？すい臓がんの早期発見・早期治療の啓発活動は？

答　①単に正解・不正解を確認するのではなく、答に至る過程が重要です。しかし効率的に採点するため導入を慎重に検討する必要があります。②すこやかポイント事業は、健康づくりに対するポイントを貯めて、景品に応募することで健康意識の向上を目指すものです。健康アプリ・ケンコム事業は、自身で健康の記録や健診結果の比較ができる国保加入者対象のアプリです。すい臓がんの啓発は、既存のがん検診の情報提供の中で検討してまいります。

終活支援について

村田俊太郎 議員

問　終活フェスタの開催等、終活支援に取り組む自治体があるが、本市において終活支援に取り組む考えは？

答　出前講座や高年者大学等で人生会議について説明し、大和郡山市版エンディングノート「わたしノート」の書き方を案内しています。このノートは悲観的なものではなく、自分自身のことを書き留めておく自分史であり、これからの自分や家族をつなぐものでもあります。今年度中に改訂を行い、出前講座の実施や市広報誌への折り込み等を通じ、「わたしノート」の周知、啓発に取り組んでまいります。

他の質問項目：加齢性難聴について